

令和3(2021)年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会 会議録

会議名称 令和3(2021)年度 第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会

日 時 令和3(2021)年7月14日(水) 午前10時00分開会 午前10時40分閉会

会 場 大田原市役所301・302会議室

出席者

●選定委員

●事務局

氏 名	役 職	氏 名	役 職
植 竹 福 二	教育委員会教育長	大 森 忠 夫	教育委員会教育部長
深 澤 道 昭	教育委員会教育委員	明 澤 伸 宏	教育委員会学校教育課長
本 多 房 雄	区長連絡協議会副会長	遠 山 雅 之	教育委員会学校教育課学校教育係長
越 井 二 郎	自治公民館連絡協議会副会長	横 山 泰 子	教育委員会学校教育課指導主事
福 田 保 夫	大田原市小中学校校長会長	藤 田 知 史	教育委員会学校教育課指導主事
藤 田 謙 治	P T A連絡協議会		
磯 智 保 子	P T A連絡協議会		

## 1 開 会

事務局： ただいまより、令和3年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を開会いたします。はじめに、植竹会長より御挨拶を申し上げます。

## 2 あいさつ

会 長： 皆さんこんにちは。本日は、大変お忙しいところ、本市の第二回小中学校教科用図書選定委員会にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本日の会議は、調査員より調査結果の報告を受け、明日の教育委員会への答申内容を検討する会議になります。調査員は、本市の子どもたちの実態に基づき、どの教科書が良いかという観点で調査研究しております。本日はその調査結果に基づいての選定をお願いいたします。

なお、本会議は前回の会議で確認したとおり、大田原市立小中学校教科用図書選定委員会 設置要綱 第七条により、選定委員会による協議は公開、調査員会の報告 及び 選定委員会による議決は、非公開とさせていただきます。

どうぞ本市の子どもたちのために、最も適した教科書の採択を答申できますよう、慎重なるご審議をお願いいたしまして、私のあいさつといたします。

事務局： 次は、調査員による報告となりますので、傍聴の皆さんは、退席をお願いいたします。公開の協議のところになりましたら、再度、入口を開けさせていただきます。

事務局： 報告に入る前に、事務局から連絡がございます。

事務局： 本日の資料について確認いたします。本日の要項と資料1～3まで資料が4種類ございます。これらの資料につきましては、本日の会議終了後には回収をさせていただきます。

次に、本日の流れにつきまして確認いたします。要項表紙を御覧ください。

このあと、3の調査結果の「報告・質疑、協議、議決」です。まず、「報告・質疑」についてですが、調査員からの「報告・質疑」は非公開です。特別支援学級用図書について調査員代表から、採択を希望する一般図書の特徴点や採択を希望する理由について報告があります。そのあと質疑の時間を設けますので、皆さんから、報告の内容やその他疑問点について質問をしていただきます。

そのあと、調査員に退室していただき、委員の皆さんには、「協議」をしていただきます。「協議」は公開で、傍聴人が入室します。選定委員の方々からの意見交換の時間となります。本市の児童・生徒が使用するにふさわしい教科用図書についての御意見をお願いいたします。

「協議」のあとは、「議決」をします。非公開です。傍聴人は退室します。

要項2ページ「特別支援学級の教科用図書採択・使用上の注意」をご覧ください。

1 採択・使用の原則 の2行目途中からです。「学校教育法附則第9条の規定により、小・中学校の特別支援学級で特別の教育課程による場合において、教科により当該学年の検定済教科書を使用することが適当でないときは、他の適切な教科書を使用することができることとなっている。」とあります。そのことについてさらに、2の(5)をご覧ください。「検定済教科書の下学年用及び、文部科学省著作教科書を使用することが不適当な場合にあつては、絵本等の一般図書を教科書として採択・使用することができる。」となっています。本日は、この「一般図書」を選定していただきます。

要項3、4ページをご覧ください。表の一般図書の欄にある○印のついている図書に関しては、現在も大田原市の特別支援学級において使用しているものです。◇印のものが今年度新たに調査研究したものです。本日はこの◇印の図書を中心に代表者から報告があります。私からは以上です。

事務局： では、この後の進行は会長にお願いいたします。

会長： ここからは私が進行いたします。

会長： まず、小学校特別支援学級用図書です。調査員の先生の入室をお願いします。調査内容について、報告をお願いします。

調査員： 令和4年度使用小学校特別支援学級教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。

まず、調査研究の方針を述べさせていただきます。資料2の表紙の裏のページをご覧ください。

- 児童の能力差や発達段階に応じて活用できる図書であること。
- 児童の興味・関心を高め、日常生活に即して学習できる図書であること。
- 色彩が豊かで写真やイラスト等を多用し、児童の五感に働きかけ、イメージを膨らませることができるとなる図書であること。
- 直接書き込んだり、色を塗ったり、音を出して練習したりなどの体験的な活動ができる図書であること。
- 学年にとらわれず、児童の実態に応じた幅広い取り扱いができる図書であること。

以上の5つの方針に沿って数多くの一般図書を調査研究し、一覧表にまとめました。要項の3, 4ページの「令和4年度使用小学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で37冊について調査研究いたしました。

今回の調査では、今まで使用していた図書に追加して、新たに3冊を取り入れました。新たに取り入れた図書には、◇印がついています。「理科」で1冊、「図工」で1冊、「保健」で1冊です。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新しく取り入れた図書3冊について御説明いたします。

資料2の26ページをご覧ください。理科教材として取り入れた図書の名称は、フレーベル館の「図鑑ナチュラ ふしぎをためす図鑑 1 かがくあそび」です。本書は、日常生活に身近な、光、水、空気などをテーマにし、容易に入手できる材料を活用した遊びや実験の方法が、イラストや写真などで児童が分かりやすいよう工夫されています。大きく6つのテーマで構成され、一つのトピックスを1, 2ページでまとめてあり、児童が学習しやすいようにまとめています。全ページカラーで写真やイラストを多く使用し実験の方法などを分かりやすく説明しています。また、漢字にはすべてふりがながついており、児童の発達段階に合わせて活用できるようになっています。児童の生活様式に密接している教材が多く取り入れられているため、理科的内容を身近に感じとり、親しむことができます。

次に、図工で取り入れた、高橋書店「5回おったらできあがり！！はじめてのおりがみ」です。資料2の32ページをご覧ください。本書は、はじめての児童でも紙1枚、5回で簡単に折り紙の作品を作る方法を学ぶことができます。折り紙は、指と頭をまんべんなく使い、想像力や集中力、色彩感覚を養うことができます。お手元のおりがみの本のコピー 8・9ページと66・67ページをご覧ください。初めに、折り紙を折るために必要な用語と基本の折り方が載っており、作品を折りながら覚えることができるような構成になっています。また、動物や虫・恐竜などのカテゴリーに分かれており、全般を通して、児童が抵抗なく取り組み、個人差や興味・関心に応じられる内容になっています。

最後に、保健で取り入れた、小学館「21世紀幼稚園百科 からだのふしぎ」です。資料2の35ページをご覧ください。

本書は、体の部位の名称や消化器、循環器、筋肉の仕組みや健康な体づくりについての基礎的な内容を学ぶことができます。お手元の資料の本のコピー 26ページと 27ページをご覧ください。初めに、人の体のつくりや健康な体づくりについて、写真やイラスト、図解等で児童にイメージしやすく分かりやすい説明になっています。また、人の体の働きや食べ物との関係など、健

康な生活についても理解することができます。体の各器官のつくりや働きについて14のテーマについて見開きで見やすく構成されています。紙質は厚く上質で製本もしっかりしています。全般を通して内容が豊富で分かりやすく、児童の個人差や興味関心に応じられる内容になっていると考え選定しました。

以上の3冊が令和4年度小学校特別支援学級教科用図書として、新たに取り入れた図書です。全37冊、小学校特別支援学級用教科用図書としてふさわしいと思われる図書について調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしくお願いいたします。

会 長： 新たな3冊について御報告いただきました。何か質問等ございますか。

委 員： ありません。

会 長： 調査員の先生、ありがとうございます。

会 長： 中学校特別支援学級用図書について、報告をお願いします。

調査員： 令和4年度使用中学校特別支援学級教科用図書につきまして、調査結果を報告いたします。まず、調査研究の方針を述べさせていただきます。資料3の表紙の裏のページをご覧ください。

- 「生きる力」をはぐくむために、日常生活に役立つような身近な題材が取り上げられている図書であること。
- 生徒の興味・関心や個人差、能力差に応じて活用できる図書であること。
- 社会の変化に対応し、社会的自立につながる内容を含む図書であること。
- 基礎的な学習内容で、義務教育期間中に定着が図れるよう、適切な分量の図書であること。
- 偏りがなく幅広い内容で、どの地域にも応じることができる図書であること。

以上の5つの方針に沿って数多くの一般図書を調査研究し、一覧表にまとめました。要項の5, 6ページの「令和4年度使用中学校特別支援学級用教科用図書一覧表」の一般図書とある枠内をご覧ください。全部で30冊について調査研究いたしました。今回の調査では、今まで使用していた図書に追加して、新たに8冊を取り入れました。新たに取り入れた図書には、◇印がついています。国語2冊、社会1冊、数学1冊、理科1冊、保健体育1冊、技術1冊、家庭1冊の合計8冊です。変更のなかったものについては、説明を省かせていただき、新しく取り入れた図書2冊について御説明いたします。

資料3の15ページをご覧ください。初めに、東洋館出版社シリーズの「くらしに役立つ

数学」についてご説明いたします。この図書は、毎日の生活で必要とされる、お金を使う・時刻や時間を見て行動する・調理をするときに量を測るなど、その時に使う数量や図形を扱っています。(資料提示) お手元にあるカラーコピーした資料をご覧ください。「基礎編」では、「およその数」や「速さ」などの小学校までに学習してきたことの復習を中心にまとめられています。また「生活編」では、「自分の身の回り」や「スポーツテスト」「買い物」「図書館へ行こう」など、自分のこと、暮らし・余暇などを取り上げて学ぶことができます。自分の生活に関連するところから学習することにより、生徒自身の学習定着にもつながっていくと考えられます。また生徒の個人差や能力差・興味関心に応じた指導への配慮があり、特別支援学級に在籍している生徒の教科書に適していると考えられます他の教科においても、生活に密着した内容を取り上げられていて、教科書に適しているため、国語・社会・理科・保健体育・家庭を今年度新たに採用いたしました。お近くにある数学以外の教科書をご覧ください。教科ごとに一色の色味で統一されているため、落ち着いて学習することができると考えられます。これらの教材を使用することにより、それぞれの教科の知識や技能などが生活に生かされ、より広がりのある生活につながると考えられます。また、将来の家庭生活や経済の充実につながると思われます。

次に、技術です。資料3の25ページをお開きください。主婦の友社の「こども植物研究所」についてご説明いたします。

お手元の資料をご覧になって分かる通り、この図書は、身近な植物を取り扱っており、地域の実態及び学校の実情に応じて、栽培方法を学び、栽培した野菜・植物の調理方法や作品作りの仕方が詳しく解説されていて、生徒の生活に役立つ内容が多く掲載されています。また多くのイラストや写真で解説されていたり、奇数ページの下の部分には、そのページに関する豆知識が掲載されていたりするため、生徒の興味関心を引き立てることができ、発達に応じて活用されることが期待されます。例えば、88・89ページのキュウリのところでは、輪切りにした時のもようが徳川家の家紋のようなので、武士はキュウリを食べなかったとか、というようなことが書かれており、生徒の興味・関心を高めるような豆知識が含まれています。関連教科として、国語や理科、家庭科、総合的な学習の時間、食育のみならず、138・139ページのように植物関連の職業についてのキャリア教育にも配慮され、教科書に適していると考えます。

最後に、以前から採用されているナガセの「はなまるリトル2年生国語」に3年生国語を追加しました。

以上の8冊が令和4年度中学校特別支援学級教科用図書として、新たに取り入れた図書です。全30冊、中学校特別支援学級教科用図書としてふさわしいと思われる図書について、調査研究し、資料としてまとめましたので、御審議をよろしく願いいたします。

会長： 新たな8冊について御報告いただきました。何か質問等ございますか。

委員： ありません。

会長： 調査員の先生、ありがとうございました。では、協議ですので、傍聴人が入室いたします。

会長： 協議を始めます。小学校・中学校の特別支援学級用図書について何かご意見ございますか。

委員： 特別支援学級には様々な生徒がいます。そのような中で先生方には一人一人に丁寧に対応していただいています。その先生方が、これがいいというものを選んだということは、これらが子どもたちにとってふさわしいであろうと、今の丁寧な説明を聞いていても感じましたので、報告通り教科書として採用できればと思います。

会長： では、次は議決となりますので、傍聴の皆さんは、御移動をお願いいたします。

会長： 小学校特別支援学級用図書については新たな3冊を加えるということでよろしいでしょうか。

委員： 結構です。

会長： 小学校特別支援学級用図書は新たな3冊を加えた37冊を認めることとします。  
中学校特別支援学級用図書については新たな8冊を加えるということでよろしいでしょうか。

委員： 結構です。

会長： 中学校特別支援学級用図書は新たな8冊を加えた30冊を認めることとします。

委員： 結構です。

会長： では、全ての選定が終了しました。私の進行は以上で終了いたします。本日、選定されたものを教育委員会に答申いたします。ありがとうございました。進行を事務局に戻します。このあと、傍聴者が入室します。

事務局： 委員の皆様、ご協議ありがとうございました。会長からもありましたとおり、本日の協議内容は明日の教育委員会に答申いたします。以上で、令和3（2021）年度第2回大田原市立小中学校教科用図書選定委員会を閉会とさせていただきます。大変お疲れさまでした。